

様式1

令和4年度 学校評価表

学校教育目標	志高く 未来を拓く 高西中教育 ～自立・協働・創造～		
a ミッション	中学校区で取り組む「高西・志プロジェクト」の推進	a ビジョン	高い志と心とに誇りを持ち「知りたい・学びたい・挑戦したい」が求められる学校 ・ふるさと学習、キャリア教育を推進する学校 ・生徒の可能性を引き出し、磨き、高める学校 ・安全で安心して任せられる学校 ・教職員がやりがいを持って活動している学校

尾道市立高西中学校

b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	自己評価					学校関係者評価			改善計画								
				f 目標値	7月達成値	1月達成値	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価										
										イ	ロ		ハ							
<p>小中連携「志プロジェクト」で心ひとつに未来をつくる</p> <p>目指せ！「自立」「協働」「創造」</p> <p>～生活と学習のPDCAを回せる生徒の育成～</p> <p>↓</p> <p>15歳の自立と自律</p>	<p>授業改善の カリマネの推進</p> <p>↓</p> <p>小中連携「志プロジェクト【学力】」の推進</p> <p>+</p> <p>「主体的、対話的で深い学び」の実現</p> <p>↓</p> <p>学力の向上</p>	<p>①一人1回研究授業、逆向き単元構想図の作成</p> <p>②生徒の実態に合わせた、主体性を引き出す工夫</p> <p>③見方・考え方を働かせ、深い学びを引き出す工夫</p> <p>④対話的な学び合いを実現し、表現力を育成する工夫</p> <p>⑤学力分析と改善計画⇒実行</p> <p>⑥小学校との互見授業・交流の実施</p>	<p>①達成率</p> <p>100%</p> <p>②生徒アンケート「課題をやってみたいと思う」肯定的評価</p> <p>80%</p> <p>③生徒アンケート「比較・分類・関連付けて考えている」肯定的評価</p> <p>85%</p> <p>④生徒アンケート「考えと理由を相手にわかりやすく伝える」肯定的評価</p> <p>77%</p> <p>⑤⑥実力テスト（3年）標準学力調査（1・2年）</p> <p>全比+3P</p>	100%	100%	100%	100%	A	<p>校内研修を毎月実施し、研究通信や校内研修の中で振り返りを行うことで、研究を積み上げてきた。校内研修では、教員間で横断的な実践共有をする時間をしっかりと確保できた。単元構想図や学習指導案の作成時には、つづけたりや動いたりという工夫・考案方、想定される生徒の思考が明確になるように意識を高めることができた。</p> <p>生徒の抱える困難さなど、実態把握を強化して、個別の支援が必要な生徒に対しての手立てを計画することができた。しかし、課題設定の方法や、思考ツールの使用など、全体として共通意識をもつことが不十分だった。今後は、自ら選択したり、自分なりの考えをもつことのできる課題設定と、その手立てを行うことを共通認識として取り組んでいきたい。</p> <p>話し合い活動、表現の型についての掲示物や、動画を作成し、模範を示すことで、規範・理由・結論に着目した表現方法は、生徒に周知することにできた。今後は、表現活動の場をさらに増やすことや、表現力の向上に、生徒の主体的な取り組みを促す指導・指導を継続・徹底していく必要がある。</p> <p>・ICTを活用して、効率的に生徒アンケート集約したり、学力を分析することができ、授業改善に繋げることができた。学力プロジェクトとして、小中学校がお互いの授業を参観する機会が十分にあり、学びが深まった。今後は、小中のつながりをより意識し、成長の過程が見えるルーブリックをつくっていきたい。</p>	3	イ	ロ	ハ	<p>○ICT活用等、今の時代に合った学びの提供をされており、生徒自身の達成感も上がり、素晴らしいと思います。</p> <p>○学力調査に対する評価は「C」とありますが、急に伸びる部分ではないと思うので、継続して活動していただきたいと思っています。</p> <p>○人と議論し、意見をいかに伝えていか、いろんなテーマでやると、興味のあるところで自分の思いを言える可能性が上がるのではないかと。また、自分の思いを伝えることが難しい生徒に対しては、手段を伝える、自分の思いを言う前に、人の話を聴くという、まず「聴く姿勢」「聴く力」をつけて欲しい。人の言ったことを一回受け入れて自分の思いを伝えるように。</p> <p>○生徒たちの学びを止めないために、「ICT」の活用、授業の工夫等、先方が一丸となって努力をされており、非常に頼もしいと思っています。生徒たちの学びに対する意識も、先の方の熱意が、上がっていくのではないかと熱い思いが、その温度差も大きいと思います。一人でも多くの生徒が先方の工夫を楽しんで取り組み、その結果として学力の向上につながるように今後の活動を期待しています。</p> <p>○ミッションに向けての取組が素晴らしいです。小中学校との交流は安心します。</p>	<p>○効率よく充実した研修を行うために、適切な日程調整を行い、準備の流れを明確化することで見通しをもって取り組めるようにする。</p> <p>○生徒の主体を引き出せるような単元構想や課題設定にこだわり、継続的な実施ができるようにする。</p> <p>○思考ツールを題材にして使用法を学んだり検討したりする研修を行う。また、生徒に対して思考ツールの使い方を学習させ、活用できるようにする授業を設定する。</p> <p>○表現力を育成するための活動を焦点化し、学校全体で取り組みが徹底できるようにする。</p> <p>○授業改善計画を、教員がさらに上手く活用できるように改善する。</p> <p>○生徒が「自立」した姿について、発達状況に応じた段階的な到達点を明確に定め、小中学校で目指す姿を共有化する。</p>					
				70%	68.5%	81.1%	116%	A		<p>・1、2学期から取組を継続している「なりたい自分」を決められた、前目標で立ち回り、その達成に向けて取り組むことができた。また、本学で取り組んでいる「なりたい自分」を決められた「なりたい自分」を学習の目標として、生徒自身が自己実現に向けて取り組んでいることが確認された。今後は、生徒自身が主体的に取り組むことができるように、学習の場をさらに広げたい。</p> <p>・2学期も2度行った「学力アンケート」でも自分たちの学びたいことや学びたい分野について、具体的な目標や課題を設定し、決めることが目的ではなく、決めたことをしっかりと実行していくことを重視して取り組むことができた。決めることだけではなく、決めたことをしっかりと実行していくことが重要である。また、学力アンケートの「つなげたい」の点が低く、今後は、学力アンケートに対して積極的に取り組んでいくことが重要である。</p> <p>・やることの目的を考えながら委員と主幹の先生を中心に活動を仕組むことができた。学力アンケートでは、生徒も積極的に回答している割合が多いが、「新しい発想や価値」を出し合うという点については、まだまだ不足している。また、学力アンケートの結果から、生徒一人一人の学びたいことや学びたい分野について、具体的な目標や課題を設定し、決めることが目的ではなく、決めたことをしっかりと実行していくことが重要である。また、学力アンケートの「つなげたい」の点が低く、今後は、学力アンケートに対して積極的に取り組んでいくことが重要である。</p>	3	イ	ロ			ハ				
				90%	98.3%	98.1%	98%	B			<p>○本物に触れる機会がたくさんあり、今後の進路を考えるのに良いことだと感じています。</p> <p>○自分で考え、行動する力がついてきていると思います。</p> <p>○「学びの地図」の活用や「いきナビ」の推進等は、コロナ禍で地域との関わりが薄くなってきている昨今とても良い取組だと感じています。</p> <p>○生徒・教員アンケートは、「なりたい自分」や「学びの地図」の活用や「いきナビ」の推進等について、検証指標の達成度を確認し、再認識する良い機会となっていると思います。</p> <p>○全体的にしっかりとしたカリキュラム・マネジメントの推進を行うことのできるような課題を浮き彫りにし、振り返りを行うことでも良い成果が出ているものと感じました。生徒一人一人が成長しているように引き続き取り組んでいきたいと思います。</p>	3	イ			ロ	ハ			
				70%	91.1%	91.6%	131%	A				<p>○学校教育目標（最上位目標）の実現に向け、自己エンジンをもった役割（校務分掌）の遂行【自立】</p> <p>○一人一人が知恵を出し合い目標実現に向けてチームで協力を【協働】</p> <p>○新たな価値（改善策）を提案する【創造】</p>	3			イ	ロ	ハ		
				90%	100%	95%	106%	A					<p>中間面談並びに日々のコミュニケーションを通して、学校教員の一員を担う自覚を促した。また、その成果と課題を教職員一人一人と共有しながら、個々のモチベーションの向上及び職能成長を図るよう努めた。</p> <p>学校経営会議等を通して、学年部や分掌において、主任、主事のリーダーシップの下での、協働的なチーム作りを支援した。また、月に2回、金曜日5時研修として、教職員の時間外勤務時間の削減を図った。しかし、授業時数の確保で3学期は実施できない。</p>			3	イ	ロ	ハ	
				85%	96%	96%	113%	A								<p>「学校は楽しい」「高西中学校に通わせてよかった」という生徒・保護者の割合：生徒90%、保護者90%</p>	3	イ	ロ	ハ

【自己評価 評価】
A：100%（ほぼ達成）
B：80%（ほぼ達成）＜100
C：60%（もう少し）＜80
D：できていない＜60

【外部評価】 イ：自己評価は適正である。ロ：自己評価は適正でない。 ハ：わからない。